

# 委員会行政視察研修報告

## 総務文教常任委員会



委員長

魚谷 洋一

実施日 平成22年10月25日～10月26日

視察地 滋賀県愛知郡愛荘町 愛荘町役場

“今後の入札制度についての視察研修”

兵庫県姫路市 姫路ケーブルテレビ(株)

“導入時からの経緯、事業の推進にあたり行政・企業の手法等についての視察研修”

最初の視察地である愛荘町は、平成18年2月13日に旧泰荘町、旧愛知川町が合併。合併後人口は増え、現在約20,600人で高齢化率19.1%。

役場会議室において、

- (1) 総合評価入札
- (2) 工事看板、施行体系図等の設置
- (3) 現場技術者の常駐確認
- (4) 町ホームページでの入札公告
- (5) 建設工事発注方式
- (6) 条件付き一般競争入札
- (7) 変動型最低制限価格制度の試行実施

について、それぞれ説明を受け、質疑応答を行った。特に、(7)では、愛荘町で昨年からは試行実施している。事前説明を了承を得ていたが、当初業者からはクレームが多かった。しかし、今年は全くなかった。最低制限価格を公表していないので、下へ下への傾向があり、失格がかなり出る場合がある。町が示す最低制限価格より業者が提示する価格が低額で、かなりの開きがあるため、変動型の試行実施に至ったとの経緯説明があった。入札制度のあり方について、どの自治体も試行錯誤し、自治体独自の方法で入札執行をしているのが現状である。本町でも今回の研修を参考に今後の入札制度の検討、見直しをしていきたい。

次の視察地は、現在開設に向けて進められているケーブルテレビの先進地視察を行っ

た。姫路ケーブルテレビは、現在2市3町(姫路市・宍粟市・太子町・佐用町・上郡町)約10万世帯にサービスを展開している。

本社会議室において、

- (1) 加入率
- (2) 利用料金
- (3) 議会中継
- (4) コミュニティチャンネル
- (5) 加入の交渉(説明・PR)

について、それぞれ説明を受け、質疑応答を行った。特に、加入については、元々難視聴地域で共聴組合があったものをケーブルテレビにのせかえたため、これらの地域ではテレビについては100%近い加入率となっている。また、導入までに行政とケーブルテレビ会社が一緒に共聴組合単位・自治会単位での説明をかなりの回数行い、交渉していった経緯など、大いに参考となった。本町において、難視地域、良視地域での利用料金等の格差については、今後の事業展開にプラスとなるよう引き続き検討が必要と思われる。



姫路ケーブルテレビ(株)に於ての視察研修